



ごはんを食べるときの、はし使いのマナーって何なの

人に、不快感をあたえないためのもの

ごはんを食べるときに、はしの使い方がよくないと、マナーの悪い人といわれます。マナーの悪い、はしの使い方をあげてみましょう。

<ねぶりばし> はしをしゃぶるようにして、なめること。

<さぐりばし> おかずの入れ物をかきまわし、自分の好きなものをさぐりだそうとすること。

<なみだばし> おかずをはしでつかんで、しるがぼたぼたとたれていること。

<つきばし> おかずをはしでつきさしてとること。

<まよいばし> どのおかずをとろうかと、あちこちはしを向けること。

このような行儀の悪いはしの使い方をする、と、いっしょに食事をしている人に不快感をあたえてしまいます。食事のマナーの悪い人は、礼儀を知らない人、教養のない人と見られ、人間の評価が下がってしまいます。

ごはんを食べるときの4つのマナー

あなたは、ごはんを食べるときのマナーを知っていますか。それは、かたぐるしい、むずかしいものではありません。簡単なことです。4つの基本マナーをあげてみましょう。

まわりの人たちが、気持ちよく食事ができるように、心づかいをすること。

ずるずるとか、くちゃくちゃと、いやな音を立てないこと。

はしをふり回したり、食べ物で遊んだりしないこと。

みんなで楽しく食べること。(監修・田代 脩)

